



よつば便り

平成 26 年 7 月
よつばの会発行
NO. 20

「近況報告」

Aさんは就職した銀行での仕事にも慣れて、毎日頑張っています。
Mさんは専門学校で勉強に忙しい毎日です。

M君は地域活動センターへ通いながら、仕事体験はオニビジョンへ行っています。新しくサポートーに登録して下さった嶋村さんが見学に行きました。



新しいお友達のF君とK君も六月の定例会には出席してくれました。仕事体験を始めるにはまず、会に慣れて貰う事です。

また四月から子どもたちを見て下さる事になった川崎医療福祉大学大学院学生の安田さんをご紹介します。

今回、初原稿を書くことになりました

た、安田です。四月から定例会の後、お子さんたちと一緒に時間を過ごさせて頂いています。今後とも宜しくお願いします。

さて、四、五月はAさん・M君・Mさんの三人のお子さんとポケモンをしたり、トランプをしたりして過ごしました。なんと、このトランプはAさんの手作りでかわいらしいキャラクターの絵が描かれています！神経衰弱や七並べをしました。三人とも強い！神経衰弱では、どこに何のカードがあったかを鮮明に記憶されていました。うらやましい限りです。そして、六月からはF君とK君が新たに仲間に加わってくださいました。F君はとっても元気な男の子。そして、K君は、お兄さんという印象でした。今回、K君とはお話し出来ませんでした。今後お話しできることを楽しみにしています。

しみにしています。

「二人の信頼関係」

(サポートーの勉強を通して)
嶋村 輝子

M君の様子を見ていて、リアルタイムでのお仕事そのもの、今日その数十分後

作っていることに気が付きました。後で、金子さんとお話して、金子さんもドキ

ドキしながら、それでもいつも、ご自分一人を考え、

その日M君に任せるところを決めておられることも知

りました。M君が、オニビジョンに行きだして、今日

は五回目、その間に、金子さんは、M君の力量をしつ

かりと見、関係を作り、任せるという事をして下さっ

ているのだと、その真摯な姿勢に、私は感動してしま

いました。M君にも、金子さんが仕事を任せておられ

ることは、M君への信頼の証しであることを伝えまし

た。仕事を任せられるとい

うことほどうれしいことはありません。一方、M君も、金子さんに、質問もしつかりしていましたし、また自分自身の発想でやろうとしている部分もあり、金子さんを信頼しているのが感じられました。

それと、南さんが、カメラハに入ったときの説明を聞いている際、「ちなみに、このカメラは何カメラですか？」と尋ねられました。M君は初めてではなさそうで、分かっていたかもしれないのですが、この質問はサポートーとして大切な質問だったと、すぐ勉強になりました。ありがとうございます。これからいろいろとお世話になります。皆さん、よろしくお願いたします。

「お知らせ」

七月二十五日・二十九日の二日間、岡山市役所一階市民ホールに於いてパネル展を開催します。